

地域ケア推進会議 かわら版

2022年3月／発行：燕市長寿福祉課地域支援相談チーム

令和3年度第2回地域ケア推進会議を书面開催しました。

以下の議題について、すべての委員・協力員から143のご意見を頂戴しました。

【議題】(1)各部会の実施報告

(2)地域ケア会議からの提言について

(3)検討テーマ「地域住民のSOSを早期発見するには」



皆様から頂戴したご意見です。主なものを抜粋・要約して掲載しています。
すべてのご意見は燕市ホームページでご覧いただけます。

(1)各部会の実施報告について

○有償ボランティアの仕組みに期待している(4)

○小中学校から認知症サポーター養成講座の協力があったことは素晴らしい(1)

Q 認知症サポーター養成講座は事業所単位で依頼できますか？

A できます。概ね10人以上の団体から長寿福祉課にご依頼いただければ開催できます。

○他市町村のように福祉有償運送の車が走る環境になるとよい。その工程表を示してほしい。(1)

○総合事業のサービス A、B、の地域的偏りなどにとられることなく、元気高齢者がいつまでも輝けるために、地場産業を生かしたコミュニティビジネスにつなげていくなど視野を広げていくことはできないでしょうか。(1)

(2)地域ケア会議からの提言について ~救急搬送時、同乗者がいないと出発に時間がかかる件~

○県央地域救急懇談会、在宅医療連携推進部会の役割が重要(3)

○同乗者が誰というより、本人が誰に何を依頼するのか、その「誰」は了承しているのかが大事なのではないか。本人が救急医療情報キットの用紙や ACP 用紙に記入できるためのかわりが必要(2)

○遅くなくても来院できる人(親族・本人の意思決定代理人)が必要(2)

○遅れてでも親族が病院に向かっているのであれば、救急車は出発してほしい(1)

○救急対応する医療側が同乗者に求めることは、患者の既往歴や発症時の状況に関する情報。

また、特殊な検査・治療をする際には同意が必要。検査・治療がスムーズにできないことが予想される時には受け入れ側が躊躇するのは理解できる(1)

○すべての個人情報を持っている行政が責任を持って、行旅病人及び行旅死亡人取扱法の例により対応するシステムに改め、命を最優先にするべき(1)

○住民互助による対応は、誰もが格差なく均等に支援を受けることは難しい。(1)

(3) 検討テーマ「地域住民のSOSを早期発見するには」

【発見が遅くなる原因】 本人・家族の要因

- 自分(本人)の状況が相談しなければならない事態になっていることに気づかない。まだ、大丈夫と思っている。認知症になっているため気づかない。(13)
- 相談先が分からない、相談できる人がいない、頼れる人がいない、(7)
- 人に知られたくない、迷惑をかけたくない、弱みを見せられない、本人・家族の意思で隠れている場合発見が遅れる(4)
- 家族間や地域との関係性が悪いケース、もともと地域との交流を好まないケース(3)
- 介護保険(デイサービス)はもっと状態の悪い人のためのサービスと思っている(2)

【発見が遅くなる原因】 地域・専門職の要因

- 近所の人の変化や危機を把握しても、本人・家族が支援を求めていると介入できない、相談した場合「余計なことをして」と思われそう。通報した場合、恨まれる場合があるため(10)
- 人が集まる機会が減っているため、近所の人の変化に気づかない。地域住民同士の関係性が希薄。広報の配布(回覧)の回数が減る、地域の通いの場は頻繁に開かれていない(9)

【発見が遅くなる原因に対する解決策】

- 『何でも相談できる窓口』を設置して「困ったら電話すれば良い」ことを周知する。解決するまで責任を持つワンストップ窓口。「無料相談コーナー」をスーパーのシルバーデーに実施(7)
- 独居高齢者や親族や地域との関わりが薄い方や健康診断を受けていない方へ、包括や民生委員が繰り返し、頻回に訪問する。(7)
- 「相談していいんだよ」「助けを求めることは迷惑ではないんだよ」「サービスを使ってもいいんだよ」「相談のメリット」を伝える(5)
- コロナ禍で集まることができない中、地域住民一人一人の意識や心がけが大切。例えば、回覧板を回すときは手渡しで渡す。近所のあいさつ運動。あいさつだけでなく「あいさつ＋ひとこと」で会話のきっかけを作る。(5)
- 近所の方、民生委員、町内会長、班長、包括など関係機関で介入が必要な方の連絡会議を数か月に1回程度、包括を中心に立ち上げたらいかがでしょうか？(6)
- 本人が思う大丈夫は実は大丈夫じゃなかったというケースを紹介できるとよいのではないか。自分は何の今状態にいるのか気づけるように、絶妙なタイミングの相談事例を示してほしい(4)



本当に多くのご意見をいただき感謝申し上げます。
今後は三部会(認知症・医療介護連携・総合事業)の関連する議題と共に検討を継続していきます。

今後の予定 (開催方法は未定です)

地域ケア推進会議 R4. 8/17(火) PM1:30~3:00 認知症支援部会 R4. 6~7月 PM3:00~4:30
在宅医療・介護連携推進部会 R4. 6月上旬 PM1:30~3:00
総合事業部会 R4. 6/17(金) PM1:30~3:00



発行：燕市長寿福祉課地域支援相談チーム

☎0256・77・8157 fax0256・77・8138